

ヤマ高マジックについて 生徒への提言

東京都立東大和高等学校 進路指導部

東大和高校では、部活動が教育活動の大きな部分を占めている。部活動を目指して入学してくる生徒が多い。部活動は熱心に毎日夜遅くまで行われ、土日には1日中行われることもある。その中で、どう進路目標を定め、それに向けて勉強していくのか、という問題には困難な点がある。そしてその中で、時間がないという言葉が君たち生徒はよく口に出す。しかし、本当に時間がないのか、部活動を理由にして、無駄な時間を勉強にあてようとしただけではないか。ここで、この点を反省することを前提として話を進める。

3年生の6月の模試で成績が悪い生徒は励まし、11月の模試で成績が悪い生徒には進路を変更させるのが、世の中の進路指導の常識である。しかし、東大和高校ではこの常識が通用しない。東大和高校では、11月の模試でE判定をとっていながら、平気な顔で目標の大学に合格する者が多いのである。進路指導の常識を覆す状況であり、これはまさにマジックと呼べるものである。今、これを「ヤマ高マジック」と名付ける。

「ヤマ高マジック」を起こす生徒の多くは、普通に授業を聞いてきて、普通の成績をとってきて、部活動を引退する最後までやりきって、その充実感とともに、大学入試に切り替えた者たちである。このような東大和高校の状況を踏まえて、ここで提言を行う。すなわち、「ヤマ高マジックを起こせ!」というものである。

部活動を受験のためにやめるのではなく、とことんまで部活動をやろう。悔いの残らないように、最後まで頑張ろう。ただし、毎日の勉強は少しずつでもいいからやろう。授業を大切に、できれば授業中にその内容をすべてつかんでしまおう。そして、部活動を引退したときには、部活動のことは一切忘れて、部活動で養われた肉体と精神を用いて、全力で勉強に取り組もう。そうすれば「ヤマ高マジック」は起きる。自分の望む進路が君たちに門を開くであろう。東大和高校の入学時の偏差値は50に満たない。しかし、卒業時の偏差値は55をはるかに超える。これはすべて「ヤマ高マジック」のおかげである。

ここで、「ヤマ高マジック」を起こすためには次の5つの条件があることを認識しよう。

- ① 毎日の授業1時間1時間を大切に、その内容を確実につかむこと。
- ② 部活動には全力で取り組むこと。
- ③ 時間がないことを部活動のせいにせず、少しでも時間があれば、勉強すること。
- ④ 部活動を引退したら、部活動で得た力をすべて勉強に使うこと。
- ⑤ 受験は団体戦である。部活動で養ったチームワークをもって、クラスや学年全体で一丸となって進むこと。

進路指導部は、そして学校のすべての教職員は全力で諸君の手助けをする。そして諸君の健闘を祈る。